

別紙（中間評価書）

平成 30 年度文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）

通し 番号	10	事業区分：劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業
		助成対象団体名：公益財団法人びわ湖芸術文化財団 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール 施設名：滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール
<p>助成対象活動に関する評価</p> <p>（妥当性）</p> <p>滋賀県が策定した「滋賀県文化振興基本方針」を踏まえた滋賀県立芸術劇場びわ湖ホールのミッション、ビジョンと事業計画の整合性については明確で、これらの達成に向けて事業が適正に組み立てられていると認められる。</p> <p>また、様々な手法で音楽に関わる人材を養成する取り組み、オペラの鑑賞機会の裾野拡大を目指し、あらゆる人々が芸術文化を享受できる社会基盤の構築を目指すなど、地域の特性から導き出した対象者や地域のニーズが基になっており、助成に値する文化的、社会的意義等が認められる。</p> <p>（有効性）</p> <p>目標の達成に向けて、事業が着実に推移していると概ね認められ、アウトカム発現の可能性に期待が持てる。</p> <p>（効率性）</p> <p>事業はほぼ計画通り実施されており、事業期間は適切であったと認められる。</p> <p>一方、事業費については、概ね適切であったと認められるものの、相当数の活動において、要望時の予算額と報告時の実績額との間で乖離を生じており、今後、より実効性のある予算積算と適切な予算管理が望まれる。</p> <p>（創造性）</p> <p>「舞台芸術の創造・発信」として、ドイツ・リュウベック歌劇場首席客演指揮者・沼尻竜典芸術監督によるプロデュースオペラ・シリーズにおいて、所属団体に捉われない歌手のキャスティングや機能的に演出効果の高い四面舞台を使用し、国際水準の舞台芸術を創造発信しており、独創性、先導性が認められる。この他にも、「英国バーミンガムロイヤルバレエ」などの海外招へい公演、「ジルヴェスター・コンサート」などの自主制作公演を上演し、県民に多くの質の高い実演芸術の鑑賞機会を創出した。</p> <p>「舞台芸術にかかわる人材育成」では、「オペラ指揮者セミナー」で若手指揮者を、「イタリア声楽曲研修」で若手声楽家の育成を図ると同時に、受講生・聴講生のみならず一般にも公開され、広く学ぶ機会を提供した。これらは世界的にも例を見ない音楽家養成セミナーであり、国内外からの注目度も高く、海外からも受講生・聴講生が集まったことから、独創性、新規性が認められる。</p> <p>「舞台芸術に親しむ観客の創造」では、アカデミー要素を持つ専属団体のびわ湖</p>		

## 別紙（中間評価書）

ホール声楽アンサンブルを活用して、県内各ホールと連携したオペラ公演「森は生きている（短縮バージョン）」や、地理的にびわ湖ホールに来られない子どもたちにクラシック音楽を提供する「学校巡回公演」を実施し、文化活動への参加、鑑賞機会の充実を促進した。また、小学生をホールへ招待してオーケストラや声楽アンサンブル公演を行う「音楽会に出かけよう！」では地元新聞などでも高く評価されている。これらの事業には、独創性が認められる。

このホールの根幹をなす「プロデュースオペラ」シリーズは、沼尻竜典芸術監督を中心に、世界的に活躍する演出家を招へいし、所属団体に捉われず、演目に適した歌手を国内外から起用するなど、新演出によるオペラを制作した。また、今回のワーグナー「ニーベルングの指環」4部作のように、海外制作の作品と世界レベルで比較できるものを取り上げるなど、国内外を意識した企画を行った。

さらに、「プロデュースオペラ」シリーズ、「英国バーミンガムロイヤルバレエ」公演やコンテンポラリーダンス「フィリップ・ドゥクフレ」公演では、海外スタッフとの協働により、企画制作者、舞台技術者の舞台制作および技術向上が図られており、今後、高い水準の舞台公演の実現が期待できる。

以上のことから、国内外での評価の向上につながっていると認められる。

### （持続性）

組織面では、県からの出向職員から専門性を高めるために財団職員への転換を進めており、組織体制の強化がなされている。

財務面では、県との密接な関係を基礎とした安定的な財務基盤の確保がなされている。

以上のことから、活動が持続的に発展し、アウトカムの発現・定着が期待できると認められる。

### （総 評）

滋賀県立芸術劇場びわ湖ホールの事業計画「びわ湖ホール三方よし創造実践事業」は、妥当性、有効性、効率性、創造性、持続性において適切に進められていると認められる。

今後も滋賀県立芸術劇場びわ湖ホールが持つオペラが制作できる制作力、それを人材育成力といった自らの強み・特色を活かし、戦略的な事業展開に期待したい。

中間評価結果

（可否のいずれかに○を附す）

継続

可

否